

鉄筋コンクリート構造物の複合劣化機構の解明とその対策に関する研究委員会  
第1回全体委員会 議事録

日 時：2017年7月14日（金） 16：00～17：20

場 所：東北大学工学部 人間環境系教育研究棟 309号室

出席者：宮里委員長、伊藤、上原子、斎藤、松沢各幹事

小林、権代、近藤、野村、谷口、松下、松林、吉田、渡邊各委員

配布資料：議事次第、2017年度新規専門委員会申請書、本委員会委員名簿

本委員会第1回幹事会議事録、JCI旅行内規等、

委員会報告「複合劣化コンクリート構造物の評価と維持管理計画研究委員会報告」

議 事：

1. 委員長挨拶

宮里委員長より、2017年度新規専門委員会申請書に基づき、本委員会の設立趣意を含めた挨拶を行った。

2. 自己紹介

出席各委員より、自己紹介を行った。

3. 第1回幹事会の報告

宮里委員長より、本委員会第1回幹事会議事録に基づき、委員会の進め方、留意事項等について説明を行った。

4. 旅費等の事務連絡

（宮里委員長より）JCI旅費内規等について説明を行った。主たる注意事項を下記に記す。

①JRで移動する場合には、領収書は基本不要。

（ただし、片道700kmを超える場合は領収書が必要）（10月23日 JCI岡田氏）

②飛行機やパック旅行を使用する場合は、領収書は必要。

領収書がない場合は旅費を支出できない。

・領収書名は「公益社団法人 日本コンクリート工学会」で統一する。

・委員会の開催日程が決まったら、切符の手配を早急にお願いしたい。

（早割等、早期の予約で経費削減を図れるため）

日程変更等により、キャンセル料が必要になるものは、JCIが経費を負担するとのこと。

5. WG構成に関する意見交換

参加全委員により、今後の委員会の進め方について議論を行った。その結果、下記の方向性で進めていくことを認識した。

①まずは、日本で認識されている複合劣化事例について、平成29年度中をめどに事例収集を行う。その後、診断技術、対策、材料科学（すべて仮称）の各WGに別れて検討を行う。

②行う事例収集については、建築土木、地域別、対策の成功例、失敗例を含め、幅広い範囲で行う。

③作成する報告書について、各章ごとに担当を決めると動きが取れなくなるため、横断的に動けるような体制づくりを行う。

④報告書をまとめた結果、課題が多くなると思われるが、残る課題についても整理を行いたい。

以上